

# 山中湖村立小中学校の将来に向けて

# これまでの経過

○ 第一次山中湖村教育推進審議会

平成23年10月 前村長から「山中湖村立小中学校の将来に向けたあり方」について教育審議会を立ち上げ、検討するよう諮問があった。

審議会開催 第1回 H23.10.20 第2回 H23.11.10  
第3回 H23.12.20 第4回 H24.1.19

①学校施設の老朽化対策 (平成24年現在)  
山中小 築後42年 東小 築後39年 中学校 築後26年

②小学校の適正規模対策  
クラス替えの可能な、各学年2学級の12学級が望ましい。  
集団での語活動効果 1学級20人程度。

③小中一貫教育の推進  
中学校の近くに小学校が設置されることが望ましい。

**小中一貫教育とは**

期待されること

- 子どものつまづきの大きな原因の一つである、「中1ギャップ」の解消。
- 中学校の内容を、小学校段階で先取りや教育内容の実施学年の人替が可能。

義務教育課程	小・中学校9年間	例: 小学校5年間 中学校4年間
小学校6年間	中学校3年間	

同じ敷地内に  
小・中学校が  
ある。

第一次山中湖村教育推進審議会

# 第一次山中湖村教育推進委員名簿(敬称略)

# 山中小学校・東小学校児童の推移

## 3) 山中小学校と東小学校児童の推移 山中町立小学校児童数推移の詳細

学年 生年月日	山中小学校			東小学校			総合計 (山中+東)	
	男子	女子	合計	男子	女子	合計		
男子小6年生 平成14.3.1H(6.4.3)	19	19	38	1	9	7	16	54人
男子小5年生 平成15.3.1H(6.4.3)	17	14	31	1	9	8	17	48人
男子小4年生 平成16.3.1H(6.4.3)	19	19	38	1	6	6	14	52人
男子小3年生 平成17.3.1H(6.4.3)	18	18	36	1	6	9	15	51人
男子小2年生 平成18.3.1H(6.4.3)	14	15	29	1	4	5	12	41人
男子小1年生 平成19.3.1H(6.4.3)	21	17	38	2	9	6	15	53人
男子小6年生 平成20.3.1H(6.4.3)	14	13	27	1	6	6	12	39人
男子小5年生 平成21.3.1H(6.4.3)	17	21	38	2	3	5	8	46人
男子小4年生 平成22.3.1H(6.4.3)	7	12	19	1	10	2	12	31人
男子小3年生 平成23.3.1H(6.4.3)	13	26	39	2	3	6	9	41人
男子小2年生 平成24.3.1H(6.4.3)	33	19	29	1	3	5	8	31人
男子小1年生 平成25.3.1H(6.4.3)	13	14	27	1	9	4	13	40人

### 山中小学校・東小学校児童の推移(現在)

年 生 月 日	学 年 班 別			山中中学校			東小学校			総合計 <small>(学年別・性別別)</small>
	男 子	女 子	合 计	学 年	男 子	女 子	合 计			
平成20年4月調査 山中町立山中中学校・東小学校の学級										
高 小 学 年 班 别										
高 小 学 生 5 年 班	19	19	38	1	5	8	13			51人
高 小 学 生 4 年 班	18	17	35	1	6	9	15			50人
高 小 学 生 3 年 班	15	15	30	1	3	8	11			41人
高 小 学 生 2 年 班	21	16	37	1	9	6	15			52人
高 小 学 生 1 年 班	16	12	28	1	4	7	11			38人
保 幼 园 年 班 别										
保 幼 园 学 生 5 年 班	16	14	30	1	2	5	11			37人
保 幼 园 学 生 4 年 班	16	15	31	1	1	2	12			31人
保 幼 园 学 生 3 年 班	13	25	38	2	9	7	16			44人
保 幼 园 学 生 2 年 班	10	19	29	1	3	5	8			37人
保 幼 园 学 生 1 年 班	13	14	27	1	9	4	13			40人
保 幼 园 学 生 保 托 班	22	32	54	1	15	5	20			54人
保 幼 园 学 生 保 托 班	55	4	59	1	6	6	11			34人

中学校に隣接する東京大学用地を検討

- ・第一次答申を受け、中学校に隣接する東京大学用地を検討。
  - ・小中一貫教育には最適な場所であるため東京大学と用地交渉を約2年行った。
  - ・しかし、過去の経験から用地の提供は不可能であるとの回答。
  - ・東京大学も敷地に限りがあり、県有地を借地し事業を行っている。

**小中一貫教育** ➔ 小中連携教育にシフト

- ・中学校に近い用地を検討する → 第二次諸問

## これまでの経過

第二次山中湖村教育推進審議会

審議会開催 第1回 H26.5.8 第2回 H26.7.3  
第3回 H26.9.24 第4回 H26.11.19

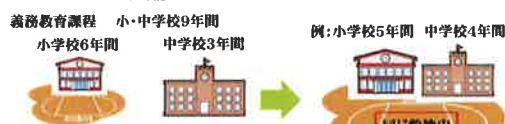
檢討事項

- ①校地面積・体育館所有・土地購入・進入路問題・通学手段・施設整備
  - ②土砂災害警戒区域
  - ③教育環境の観点（メリット・デメリット）
  - ④子供の学習の場としての機能が発揮できる具体的な観点
    - 1、安全な環境
    - 2、適正な面積及び形状
    - 3、教育上ふさわしい環境
    - 4、通学環境

## 小中一貫教育とは

期待されること

- ・子どものつまづきの大きな原因の一つである、「中1ギャップ」の解消。
- ・中学校の内容を、小学校段階で先取りや教育内容の実施学年の入替が可能。



小中連携教育とは

小中学校が隣接し、児童・生徒や先生がお互いに行き来する。



## これまでの経過

第二次山中湖村教育推進審議会

平成26年11月25日（第二次答申）

複數答申

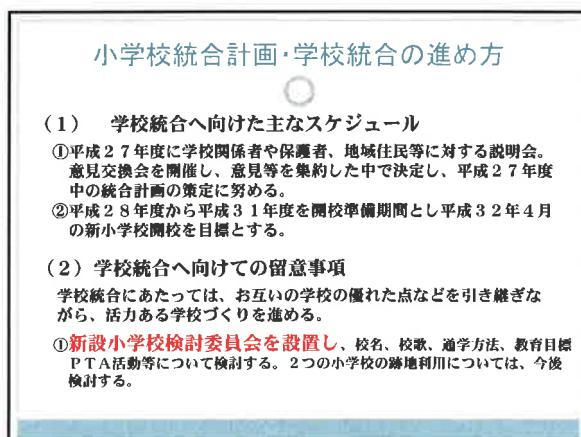
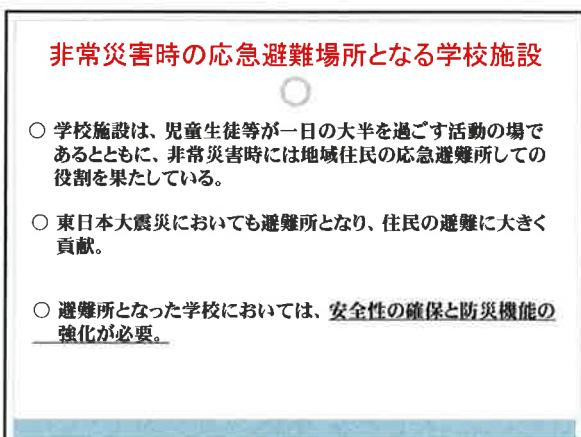
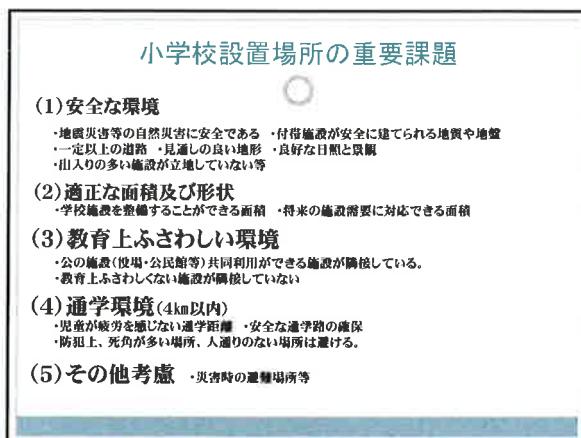
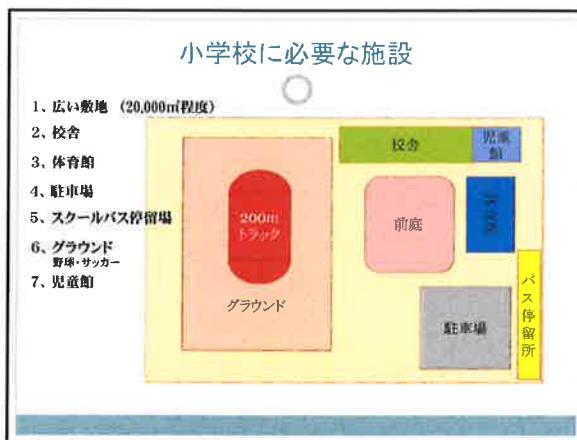
- 山中湖村立山中小学校・東小学校の統合を前提とした、新たな小学校の建設場所等については以下の3ヶ所が望ましい。

  1. 株式会社リエイ所有地：旧レジャータウン跡地
  2. 現在の山中小学校の場所
  3. 日本土地建物所有地：吉羽木材付近

付帯意見

  1. 新設場所については、早急な処置をしていただきたい。
  2. 放課後子どもプランの実現のため、施設については新設場所敷地内で実施を望む。

第二次山中湖村教育推進委員名簿(敬称略)



## 小中学校・保育所アンケート

山中湖村教育委員会

平成27年5月に、各保育所保護者会、各小・中学校PTA役員の方々に、これまでの経緯・経過を説明し、率直な意見をいただくため、アンケート調査を実施いたしました。

また、平成27年6月山中湖村広報で、住民の方々から小学校の新設に向けて、ご意見・ご要望の連絡をお願いしました。

### (山中湖中学校)一主な意見

- ・両小学校の統合により、各学年複数学級の編成が可能となり、適正規模による一層充実した教育活動が見込まれる。
- ・整った学習環境により、本村の子どもたちの意欲的な学習意欲が喚起され、学力向上及び情操面での成長が期待される。
- ・両小学校の統合により、施設・設備等に関わる経費がスリム化される分、より質の高い教育内容の充実に向けた有効な財政措置が図られることが囁きられる。

### (山中湖中学校)

- ・両小学校の統合により、通学方法や災害対応等が改善されることで、より安全・安心な危機管理体制が構築されるものと予測される。

### (山中小学校)一主な意見

- ・小学校校舎の老朽化や児童の数が減少し、クラス数が減ってしまっている事など考えると、統合して各学年2クラスが望ましい。
- ・統合して、校舎を新設となるとスクールバス等の通学手段や児童の安全第一を考えてもらいたい。
- ・校舎の老朽化を考えると、新しい校舎は必要だと思う。

### (山中小学校)

- ・山中小も東小も全学年、ほぼ1クラスです。クラス替えが6年間ないのもきついです。
- ・山中小・東小のカラーは残さずに、まったく新しい学校になれば良いです。
- ・様々な意見があると思いますが、未来の子供たちが山中湖村で最良の教育を受けられることを、第一に考えて頂けたら良いと思います。

## (東小学校)一主な意見

- ・統合するなら、放課後対策(放課後子どもプラン)を計画的に考えてほしい。
- ・一度建設したら、長年使う学校なので、子どもたちの安全な場所選びから、慎重に取り組んでほしい。
- ・場所により、山中・平野・旭日丘・長池等、村でスクールバスを検討してもらいたい。
- ・母校がなくなるのは嫌だ。
- ・計画場所を交流プラザ臨時駐車場・村営キャンプ場を検討してもらいたい。

## (東小学校)

- ・規模が大きくなった方が、勉強面でも刺激が多くなりよいのではないか。
- ・他地区では、小中学校、地区的施設、役場等が1カ所にまとめられており、大変便利だと思う。また、防災の面からも、役場の近くにあると安心できる。
- ・山中小学校、東小学校の双方を閉校し、新たに山中湖小学校の新設が望ましい。

## (山中保育所)一主な意見

- ・統合についての小学校の設置場所は、山中小学校の場所が良いと思う。体育館も新しくして4年程しか経っていないし、今ある校舎を活用した方が良いです。平野・長池・旭日丘の遠方の児童については、スクールバスを検討してほしい。
- ・小学校統合については賛成。施設内に放課後対策(放課後子どもプラン)について、整備してほしい。

## (山中保育所)

- ・新設校の場所ですが、現山中小学校の場所は、入口が狭く広げるにはお墓やお地蔵様もあり困難と思われるし、駐停車する車も多かったり村道自体も狭い地域のため、スクールバスや徒歩の児童、自転車が通学するにはあまりにも危険に感じる。歩行者と自転車や車との事故が起こりそうで怖いため、児童の安全を考えると適当とは思わない。旧レジャーラウンジ跡地は、富士山もよく見え、地域の活性化を図ったり、子どもの心を育むには最適と思う。また、入口を何カ所か造れそうだし、通学面での安全性が一番高いと思われる。

## (山中保育所)

- ・1クラスで大人数というよりも、2クラスで程よい人数で学習できる方が児童にとっても、先生にとってもいいと思う。また、2クラスになれば、クラス替え等もできると思うので、幅広い人間関係が築けると思う。

## (平野保育所)一主な意見

- ・統合には賛成です。スクールバスについて検討してください。
- ・統合には賛成ですが、新たな場所に新しい学校の建設をお願いします。
- ・1学年2学級編成できるようお願いします。

(平野保育所)

・統合には賛成です。特に東小学校の児童数が少なく、社会性の醸成が図りにくい事は日頃より危惧していました。また、各施設の老朽化も大変心配です。スクールバス(敷地内の乗降場所)、放課後対策(敷地内)、小中連携が実現できるのであれば、早急に計画を進めてもらいたい。

(平野保育所)

・保護者の意見やアンケートは勿論大切で必要かもしれません、意見を聞いた後は、多少強引でもリーダーシップをとって、どんどん進めて頂きたいです。子どものためになり、安全であれば保護者は納得します。

## ※おわりに

今回のアンケートは、無記名でお願いいたしました。  
統合について賛成との意見を、多くの方々からいただきました。

特に、お母様方からは、要望や切実なご意見が事細かく記載してありました。

各保育所保護者会、各小・中学校PTAの方々、  
村民の皆様ご協力ありがとうございました。